

新緑の季節を迎えましたが如何お過ごしでしょうか。

三月十一日の大震災は、その後の原発事故も含めて、それまでの便利さを当たり前と思ってきた私達日本人にとって、何を大切にすべきか、まさに生き方を問われる日々となっております。

こうしたなか、私事ではありますが、このほど光文社から

『年収三百万円あれば持ち家は絶対に買える』を出版しました。

一年前まで本を書くなら留学生に関する体験談と思っていましたが、縁あって持ち家獲得法を上梓しましたので、お読み頂ければ幸いに存じます。

今後日本国が借金大国になるのは自明のことであり、(今回の震災・原発事故の補償だけでも何十兆円です)そのうえ年金などのことを考えますと、私たちの今後の生活基盤も本当に軟弱になっていきます。それだからこそ持ち家の存在価値は大きいと思います。

この本を書いた動機もそこにありました。

今回、書面でののご案内となりましたことをお許し下さい。

それでは今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

平成二十三年五月

山本美紀子

